

2006 年度

科目名 コミュニケーション論	対象学科・学年 薬学部薬学1回生	担当者 荻野 敦子
授業テーマ 対人援助とコミュニケーション		
授業の概要と目標 医薬分業が進むなか、これからの薬剤師には、薬学の知識のみならず、直接患者とその家族に対峙する対人援助職として、相手に誠実に向き合い、理解と思いやりを持って接し、信頼に足る専門家となることが必要とされます。 本講では、対人関係とコミュニケーションについての心理学的基礎を学ぶと共に、会話と態度、相談援助とカウンセリングマインド等の体験的学習を通して、相手の心理とニーズ、置かれている状況を理解するための基本的知識、技能、心構えを習得し、将来の医療の担い手の一員として、患者や彼らを取り巻く人々との信頼関係を確立し得る薬学専門家の育成を目指します。		
評価方法 講義中の小レポート、演習課題、学期末試験の成績により総合的に評価します。 また、出席状況、受講態度も考慮します。		
テキスト	著者	出版社
参考書 対人援助とコミュニケーション	著者 諏訪 茂樹	出版社 中央法規
授業スケジュール・内容 I 人間関係心理学概説 1. 自分を知り、他者を知る 2. 出会いの心理 3. 関わりの心理 II 対人関係とコミュニケーション 1. コミュニケーションの基礎過程 2. 会話：言語的コミュニケーション 3. 態度：非言語的コミュニケーション III 臨床心理学に学ぶ 1. カウンセリングの基礎知識 2. 「傾聴」と「ラポールの形成」について 3. 「受容」と「共感」について IV 対人援助とコミュニケーション 1. 対人援助とコミュニケーションスキル 2. 面談技法（1） 3. 面談技法（2） 4. 行動支援 V まとめ 1. 学期末試験 2. 講評：今後の課題と展望		